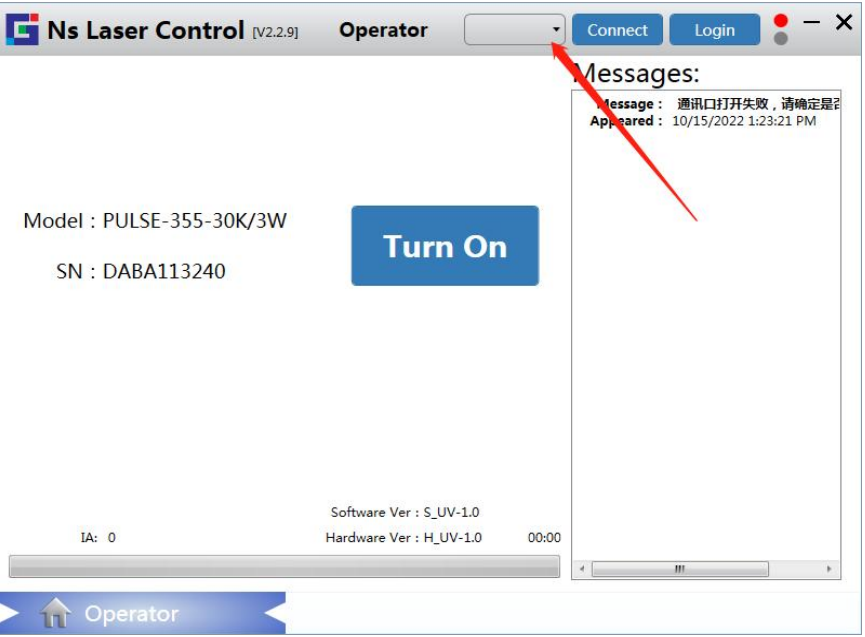
マウスの左ボタンをダブルクリックしてソフトウェアを開きます

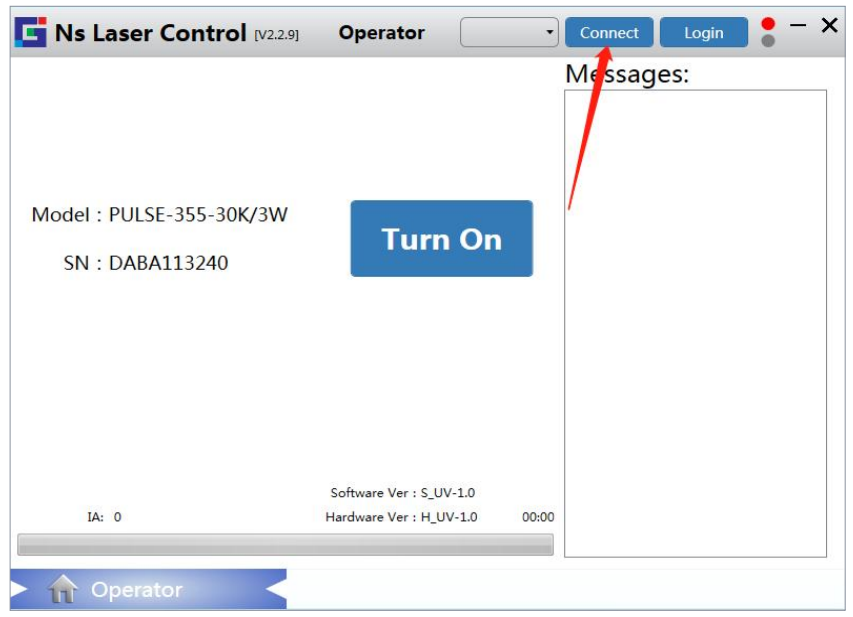


360字の翻訳文字数は2000字に制限され、2000字を超える内容は翻訳されません

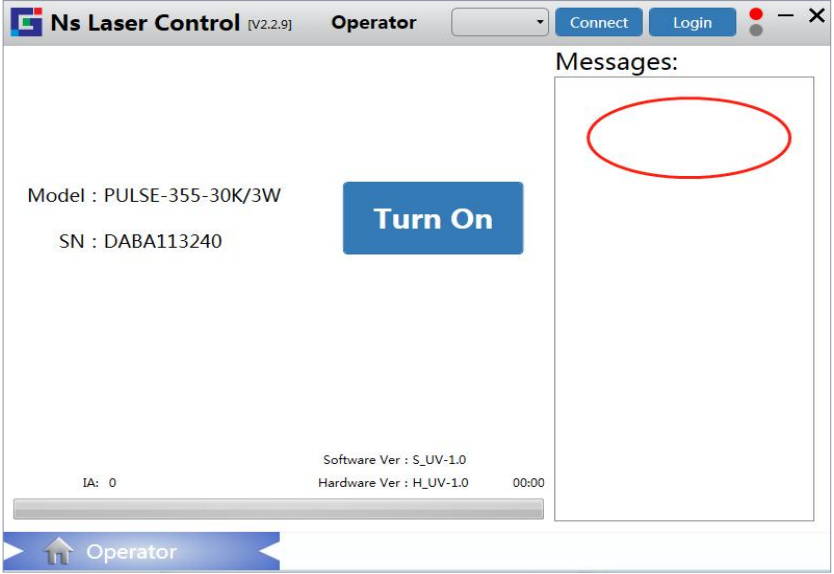
対応するCOMポートを選択



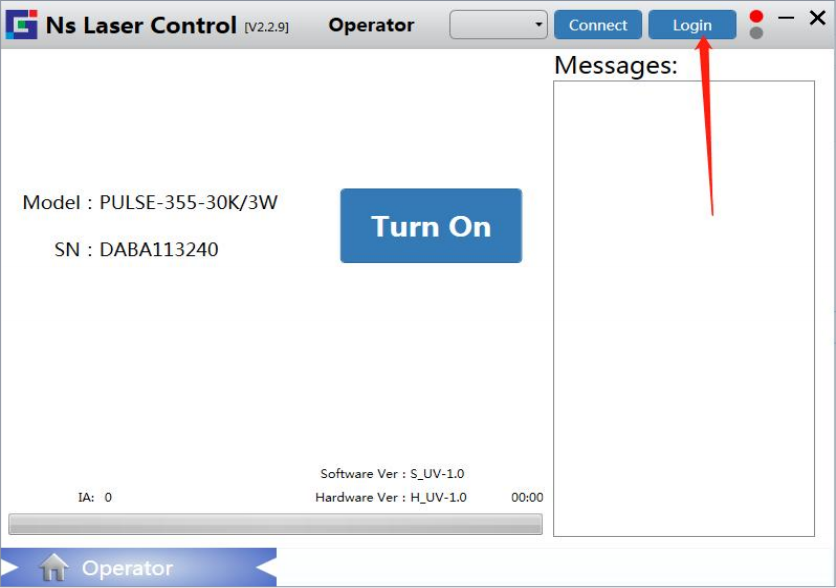
接続が成功したら、[接続] をクリックして切断します



4. 正常に接続すると、メッセージ メッセージ バーに、正常なプロンプトを開くための COM ポートが表示されます。



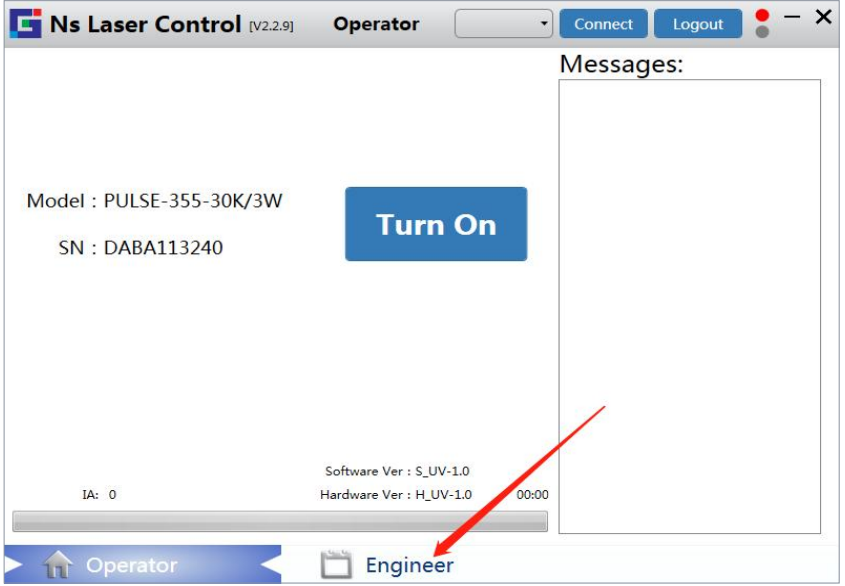
アプリ右上からログイン



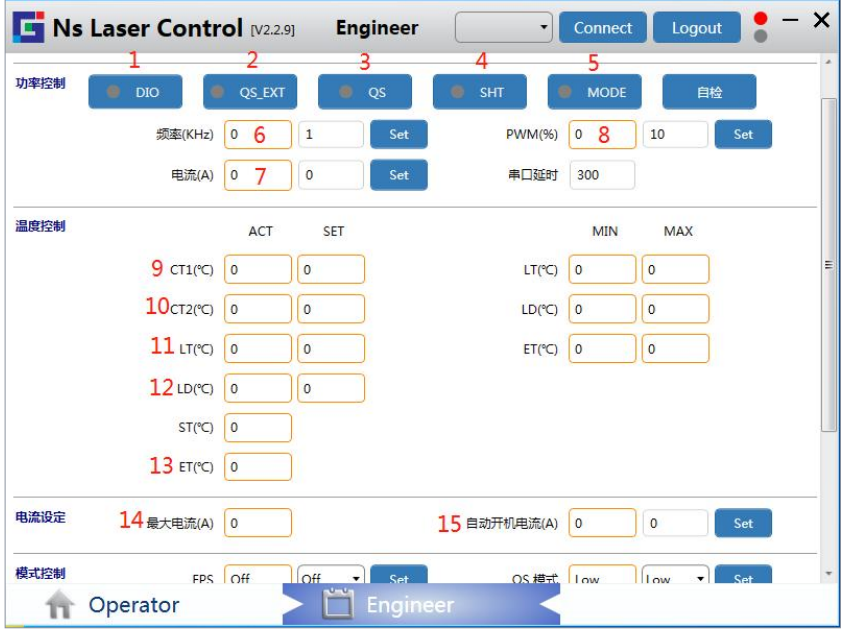
[ログイン] をクリックし、ダイアログから飛び出し、123456 と入力してログインします。



パスワードを使用してエンジニアにログインします



各種機能導入後、エンジニアインターフェースに入る



1.ポンプ電流スイッチ全体を制御するために、LEDライトは電流を加算または減算できます

2. Q Switchのトリガーモード、ライトがオンのときは外部トリガー、ライトがオフのときは内部トリガーを選択します

3. q-drive電源のスイッチを制御します。LEDライトがオンのとき、レーザーが変調されます。

4.レーザーのオンとオフを制御します。LEDライトがオンの場合、スイッチがオンになり、出力レーザーが許可されます

5. PWM外部制御スイッチ、LEDライト、PWMは外部TTLデューティサイクル制御を介して行うことができます

360字の翻訳文字数は2000字に制限され、2000字を超える内容は翻訳されません

6. レーザー Q 信号の変調周波数

7.レーザーの通常の動作電流

8. レーザーのデューティサイクルは内部で制御されます

9. ダブラーの温度

10. 三周波温度

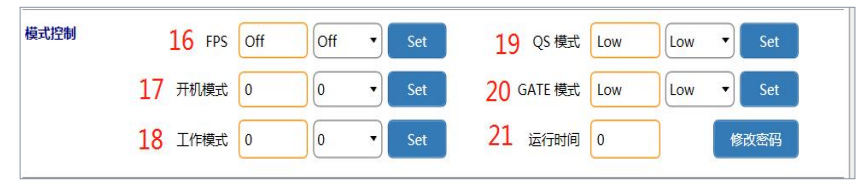
11. レーザーヘッドの温度

12. ポンプ源の温度

13. レーザーの周囲温度

14. レーザー励起光源の限界電流

15.レーザーの自動起動電流は、レーザーの通常の使用電流を設定できます



16. 第一パルス抑制機能

オフ: 無鉛パルス抑制を示します

1：システムデフォルトで第一パルス抑制機能が実現されていることを示す

2: ユーザーは、最初のパルス抑制機能を達成するために異なるレベルを設定します

17. ブートモード

0: 手動シリアル ポート ブート モード 1: 自動ブート モード

8. 操作モード

0: 手動シリアル ポート モード 1: レーザー内部制御モード (外部信号はスイッチ ライトのみを制御できます。電源周波数はソフトウェアで設定する必要があります) GATE コントロールが一般的に使用されます。

2: レーザー外部制御モード

360字数は2000字に制限され、2000字を超える内容は翻訳されないでしょう。

19.QSモード

設定する外部入力 PWM 信号レベルに応じて (入力信号は PWM ポジティブ、レーザー QS モードはハイに設定)

20.ゲートモード

設定する外部入力 GATE 信号レベルに応じて (入力信号が GATE プラス、レーザー GATE モードがハイに設定されます)

21. レーザーの起動時間